

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑の休暇村センター 相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯 相模原市立津久井合唱館
指定管理者名	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立緑の休暇村センター条例、相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例、相模原市立津久井合唱館条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。(緑の休暇村センター条例第2条) 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。(青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条) 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の相互交流の促進の寄与するため。(相模原市立津久井合唱館条例第2条)
施設概要	【緑の休暇村センター】 所在地:緑区青根807番地2 開館日:昭和55年6月8日 管理面積:12,434.00㎡ 延床面積:762.35㎡ 構想:鉄骨造地上2階、木造 主な施設:宿泊室6室、コテージ3棟、テニスコート2面、食堂 【青根緑の休暇村いやしの湯】 所在地:緑区青根844 開館日:平成17年5月11日 管理面積:4,187.33㎡ 延床面積:999.87㎡ 構想:鉄骨造一部木造平屋建 主な施設:温泉施設、貸切休憩室 【津久井合唱館】 所在地:緑区青根851番地 開館日:平成6年7月1日 敷地面積:454.96㎡ 延床面積:105.24㎡ 構造:鉄骨造1階
施設所管課	緑区役所区政策課、津久井まちづくりセンター

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【休暇村センター】 利用者数合計(人)	4,564	4,322	3,974				
【休暇村センター】 利用料金合計(円)	9,910,930	9,409,140	8,578,410				
【いやしの湯】 利用者数合計(人)	104,457	101,385	82,679				
【いやしの湯】 利用料金合計(円)	65,045,800	65,020,460	53,670,220				
【合唱館】 利用者数合計(人)	1,151	1,109	790				
【合唱館】 利用料金合計(円)	192,150	165,900	115,500				

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	10月の令和元年度東日本台風による休業や幹線道路通行止め、3月コロナウイルス感染症による休業の影響により、下半期は利用者が減少し、目標を大きく下回った。なお、上半期の緑の休暇村センターについては、目標420人に対し、実績値556人、達成度132%、いやしの湯については、目標値8,800人に対し、実績値10,334人、達成度117%、津久井合唱館については、目標値100件に対し、実績値100件、達成度100%となった。【評価基準は、当該年度の達成度が80%未満のため、D評価】

指標1	緑の休暇村センター
指標名 (単位)	施設利用者数の増加(対象施設:客室、コテージ、食堂、テニスコート)(人)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12ヶ月 単位:人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数(1か月当たり)の平均値5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用件数(1か月当たり)の平均値15%増

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	440	440	420				
実績値 (人)	380	360	331				
達成度 (%)	86.4%	81.8%	78.8%				

指標2	青根緑の休暇村いやしの湯
指標名 (単位)	施設利用者数の増加(対象施設:入浴施設)(人)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12ヶ月 単位:人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数(1か月当たり)の平均値5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用件数(1か月当たり)の平均値15%増

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	10,084	10,084	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
実績値 (人)	8,328	8,449	6,890				
達成度 (%)	82.6%	83.8%	78.3%				

指標3	津久井合唱館
指標名 (単位)	施設の年間利用件数 単位:件(コマ)
指標式と指標の説明	午前、午後、夜間の区分を1コマ=1件とする。 目標は平成28年度と平成29年度の利用コマ数(1ヶ月当り)の平均値の5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用コマ数(1か月当たり)の平均値10%増

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (コマ)	245	245	200	200	200	200	200
実績値 (コマ)	183	158	110				
達成度 (%)	74.7%	64.5%	55.0%				

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>緑の休暇村センター及び津久井合唱館については、当初提案事業を上半期協力、協賛し成果をあげることができた。下半期は10月の東日本台風の影響が響き、実施ができなかったものの、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、さらなる成果が期待できる。また、いやしの湯については、送迎バス運行事業が、3月がコロナウイルス感染症に伴う施設休業により一部中止となったものの、それ以外の事業は、予定どおり実施し、集客につなげることができた。【評価基準は、達成度が125%以上のため、S評価】</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

緑の休暇村センター及び津久井合唱館

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
第21回北丹沢12時間山岳耐久レース	7月7日	施設周辺をスタート・ゴールとする約44キロを走るトレイルレースに協賛し、大会関係者や参加選手に駐車場・入浴・食事等の提供と入賞者にトロフィーを送りPRを行った。参加者約1,600人。	◎
ペルセウス座流星群観測会	8月6日～7日	青根地域の自然を素材に、都市住民を対象に津久井観光協会主催の流星観測会に協力し、宿泊・駐車場・食事・入浴の提供を行った。参加者33人	◎
第25回道志川合唱祭及び前夜祭	9月28日～29日	道志川合唱祭及び前夜祭(芸能発表、和太鼓演奏、打ち上げ花火)の事業に協力、協賛しパンフレットの配布などPRに努めた。参加者は前夜祭約500人、合唱祭約1,000人	◎

自主事業

青根緑の休暇村いやしの湯

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
第21回北丹沢12時間山岳耐久レース	7月7日	施設周辺をスタート・ゴールとする約44キロを走るトレイルレースに協賛し、大会関係者や参加選手に駐車場・入浴・食事等の提供と入賞者にトロフィーを送りPRを行った。参加者約1,600人。	◎
第25回道志川合唱祭及び前夜祭	9月28日～29日	道志川合唱祭及び前夜祭(芸能発表、和太鼓演奏、打ち上げ花火)の事業に協力、協賛しパンフレットの配布などPRに努めた。参加者は前夜祭約500人、合唱祭約1,000人。	◎
いやしの湯送迎バス運行事業	9月～3月	温泉施設において、青根地域住民の健康増進と交流を図るとともに利用者の少ないこの時期に毎月2回送迎バスを運行し、利用者の増加を図った。利用者約300名。	◎
ゆず湯	12月22日	露天風呂でゆず湯を行った。	○
新春甘酒サービス	1月2日～3日	新春の入館者に、ご利用を感謝し甘酒の提供をした。	○
2月のポイントサービス	2月1日～29日	利用者の少ない2月平日に2ポイントのサービスを行い、利用者の増加を図った。	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	2施設においては達成度が100%を超えているが、3施設の平均では98.8%のためB評価となった。【評価基準は、利用者満足度の目標値に対する達成度が、90%以上100%未満のため、B評価】

利用者満足度調査	3施設の平均値
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査)/令和元年9月1日～2月10日実施 ※サンプル数個別表参照
目標値の基準	「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※個別表参照

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80				
実績値 (%)	78	83	79				
達成度 (%)	97.5%	103.8%	98.8%				

利用者満足度調査	緑の休暇村センター
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査) / 50件(令和元年9月1日～2月10日実施)
目標値の基準	接客、食事など各項目の満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※H29.30年度は参考値(設問相違)

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80				
実績値 (%)	77	98	62				
達成度 (%)	96.3%	122.5%	77.5%				

利用者満足度調査	青根緑の休暇村いやしの湯
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査) / 67件(令和元年9月1日～2月10日実施)
目標値の基準	総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※設問が違うため、29.30年度は参考値

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80				
実績値 (%)	78	77	83				
達成度 (%)	97.5%	96.3%	103.8%				

利用者満足度調査	津久井合唱館
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査(アンケート用紙による満足度調査) / 15件(令和元年9月1日～2月10日実施)
目標値の基準	施設管理状態、利用料金、接遇、総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80				
実績値 (%)	79	73	93				
達成度 (%)	98.8%	91.3%	116.3%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
なし		

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	いやしの湯において、自主事業(食堂)の経営改善に取り組み、支出費用の削減図った。また、10月の令和元年度東日本台風による休業や幹線道路通行止め、3月コロナウイルス感染症による休業の影響を受けたが営業外収入により3施設全体では黒字決算となった。【評価基準は、様式3の団体本体の経営状況が「若干の懸念がある」5点+本体事業収支、全体収支ともに黒字10点で合計15点のため、A評価】

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		89,574,670	90,833,245	87,094,445
	指定管理料	700,000	700,000	706,675
	利用料金収入	75,148,880	74,595,500	62,364,130
	その他の収入	13,725,790	15,537,745	24,023,640
支出 (b)		88,792,043	89,504,565	81,769,998
	人件費	30,660,657	29,811,409	25,599,929
	本社管理経費	48,489,611	50,296,678	48,645,182
	その他の支出	9,641,775	9,396,478	7,524,887
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		782,627	1,328,680	5,324,447
自主事業収入 (d)		46,311,407	45,446,995	37,102,435
自主事業支出 (e)		49,792,292	46,706,817	40,661,671
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		-3,480,885	-1,259,822	-3,559,236
全体収支 【(c)+(f)】		-2,698,258	68,858	1,765,211
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和2年3月30日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	施設人員は100%(いやしの湯は93%)市内従業員であり、地元活用として評価できる。	

8 指定管理者の自己評価

平成元年度の下半期は、10月の令和元年度東日本台風による休業や幹線道路通行止め、3月新型コロナウイルス感染症による休業の影響により利用者が減少し、利用料金収入や自主事業（食堂）収入を主財源として経営している法人としては大変厳しいものとなった。法人としては、歳出の削減や相模原市から営業補償などにより全体として黒字決算になりましたが、経営状況は厳しい状況は続いており、さらなる経営改善に努めてまいりたい。

9 所管課意見

令和元年度について、10月の令和元年東日本台風による休業や幹線道路通行止め、3月新型コロナウイルス感染症による休業の影響にともない利用者数が減少し、指標の達成度がD評価となった。経営については施設単体の収支は赤字の施設もあるが、3施設合計では黒字となった。各施設とも従業員の接客など概ね満足度の評価は問題はないものの、総合的な評価では緑の休暇村センターにおいて普通を占める割合が他の施設より多いため、頂いた意見をもとに改善に努めてほしい。新型コロナウイルス感染症が収束したのちの集客に繋がられるよう施設修繕や広報など必要な協力をしてまいりたい。

10 選考委員会意見

- ・利用者満足度について目標値が高すぎるのではないかと。
- ・アンケート数が少ないため、母数を数百以上とするべきである。
- ・指定管理料のない施設の決算としては、一定の評価ができる。3施設合計での黒字化をするような運営を目指すべきである。
- ・公共交通機関により施設に直接行くことができないため、交通事業者との協業も模索する必要があるのではないかと。
- ・HPについては、デザイン・構成・写真などの観点からリニューアルする必要がある。
- ・HPのリニューアルにあわせてSNSの強化を図るとよい。
- ・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減が予想されるため、情勢の変化（家族キャンプの増加など）を踏まえた事業の立案や対策を具体的に検討すべきである。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

